

第3期 丸亀市WEBライター塾を終えて



ヨス
(矢野 洋介)

全7回にわたる「第3期丸亀市WEBライター塾」が終了し、今、最も強く感じているのは受講生の皆様が放つ圧倒的な「熱量」です。

特筆すべきは、講座終了後に毎回任意で開催した質疑応答を兼ねた勉強会です。回によっては10名近くの方が参加され、議論が白熱し、気づけば日付が変わっていることも一度や二度ではありませんでした。この事実は、受講生の皆様がいかに本気でスキルを習得しようとしているかの何よりの証左です。

本講座のもう一つの特徴は、実践的な記事作成の課題です。日々の仕事と両立しながら課題をこなすのは大変だったと思いますが、それでも3割近い方が最後まで記事を書き上げ、提出してくださいました。この数字は、単なる受講を超えた、プロとしての意識の芽生えを感じさせるものです。

第3期 丸亀市WEBライター塾を終えて

我々講師の役割は、そのやる気に応え、全力で後押しすることに他なりません。「講義によるインプット」「課題記事の作成（アウトプット）」「講師からの個別フィードバック」「フィードバックに基づく改善」というサイクルを繰り返すことで、受講生のライティングスキルが着実に向上していく様子を実感でき、本講座の教育的効果を確認しております。

本講座を通じて生まれた、高いスキルと熱意を持つライターは、今後の丸亀市の情報発信において貴重な財産です。彼らが地域で活躍できる場を創出していくことが、本事業の価値をさらに高めるものと確信しております。

第3期 丸亀市WEBライター塾を終えて



へんも
(三原 貴嗣)

全7回の講座を終えて感じた喜びは、「文章を書く」という行為の奥深さを受講者の皆様と共有できたことです。

私たちは学校教育の中で「日本語の文章の書き方」を学んできました。その中でレポートや感想文、作文を書く経験はありますが、WEBライティングはその延長線上にあるものではありません。文章の目的・構成・読まれるための工夫も、まったく性質が異なります。この違いを理解することが、最初の大きな関門だったと思います。

学校の文章は「先生に読んでもらうこと」を前提としており、正しい日本語で誤字脱字がなく、筋道が通っていれば十分に評価されます。

しかし、WEB記事の文章は「見ず知らずの読者に最後まで読んでもらい、何らかの行動につなげる」ことを目的としています。つまり「正確なだけの文章」ではまったく読んでもらえないという厳しい現実があるのです。

第3期 丸亀市WEBライター塾を終えて

日本語として成立していても、興味を引くことができないければ途中で離脱されてしまう。逆に、多少くだけた表現でも、読み手の心をつかみ、最後まで読ませることができる文章が「良い文章」として評価されます。こうした「学校では習わない文章の書き方」を、体感してもらうことが今回の講座の狙いでした。

「読まれない文章」から「読まれる文章」へ。その違いを、実際の添削や課題を通してつかんでもらうために、タイトルのつけ方、冒頭のつかみ、段落のリズム、主語と述語の距離、情報の順序、視点の一貫性など、一つひとつの技術を具体的に解説していきました。感覚的な話ではなく、再現可能な技術として身につけることを目指しました。

受講者の中にはWEBライティングの経験がない方も多く、限られた講座回数の中で学ぶには内容的にかなりハードだったと思います。けれども、受講者の宿題として初回と最終回で提出された記事を比べると、その質は大きく変化したことが伺えます。

読み手の視点を踏まえた構成や表現に変わり、「誰に・何を・どう伝えるか」を意識できるようになったことで、文章全体がぐっと引き締まりました。書き手とし

第3期 丸亀市WEBライター塾を終えて

での意識が確実に一段上がったと感じます。

WEBライティングとは、単なる「文章を書くスキル」ではなく、「他者に伝える力」を磨く学びです。

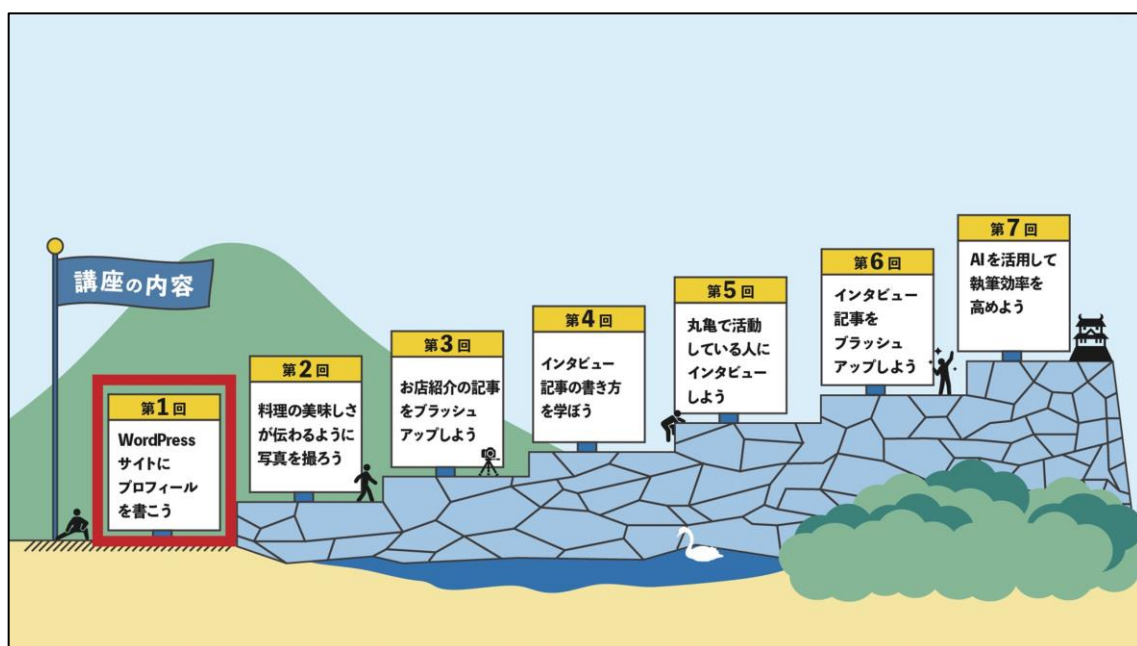
自分の中の思いや体験を、読者の心に届く形へと整えていく。そのプロセスには、論理と感性の両方が必要です。今回の講座を通じて、その奥行きを少しでも実感してもらえたのなら、これほど嬉しいことはありません。

この経験を糧に、受講生の皆さんがそれぞれのフィールドで、自らの言葉で地域を、仕事を、暮らしを発信していく日が楽しみです。

丸亀市文化芸術推進サポーター養成講座

第3期 丸亀市 Webライター塾

第1回 WordPress サイトに プロフィールを書こう



もくじ

- ① 自己紹介
- ② この講座の趣旨
- ③ WordPress アカウント作成と使い方
- ④ 【重要】 目的を明確にして書こう
- ⑤ プロフィールを書こう
- ⑥ 質疑応答

この講座の趣旨



すべての文章には対象と目的がある！



媒体	対象	目的
ライター塾の告知ページ	PCが使える、発信に興味がある人	フォームから応募してもらう

「対象」と「目的」の例

① ランドセルの広告チラシ



【対象】小学校に入る子を持つ親

【目的】ランドセルを購入してもらう

② 履歴書／職務経歴書

履歴書	
氏名	山田 太郎
生年月日	1990年4月1日生 (西 年齢)
ふりがな	山田 太郎
住所	東京都中央区
TEL	012-3456-7890
E-mail	
学歴	
職歴	

【対象】人事担当

【目的】面接に進めてもらう

③ 日記



【対象】将来の自分

【目的】楽しむ

対象と目的が明確化 → 書くべきものが明確に

(例) 履歴書

履 歴 書	
ふりがな	山田 太郎
生年月日	1990年4月1日生 (満 年齢)
ふりがな	東京都中央区
電話番号	012-3456-7890



どんな情報が必要？	名前、住所、電話番号、学歴、職歴、特技
なにをアピールする？	希望する会社の職種に必要な能力、経験があること
なにに気をつける？	誤字なく、信頼されるように
どんな写真を使う？	誠実そうに見えるように

プロフィールページの対象と目的の例

① だれが読む？

記事を読んで「書いた人」に興味を持った人

[ヨスのプロフィールはこちら](#)

② プロフィールの目的は？

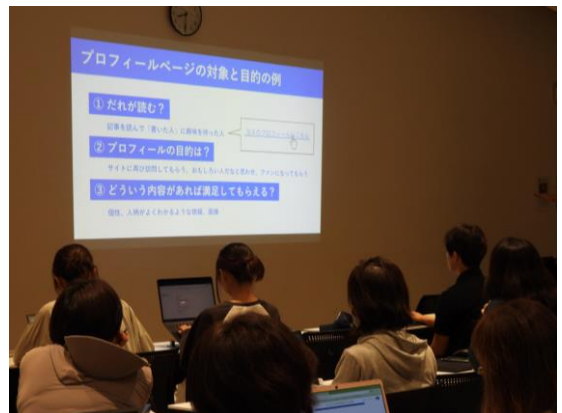
サイトに再び訪問してもらう。おもしろい人だと思わせ、ファンになってもらう

③ どういう内容があれば満足してもらえる？

個性、人柄がよくわかるような情報、画像

第1回 6月10日（火）

Wordpressサイトにプロフィールを書こう

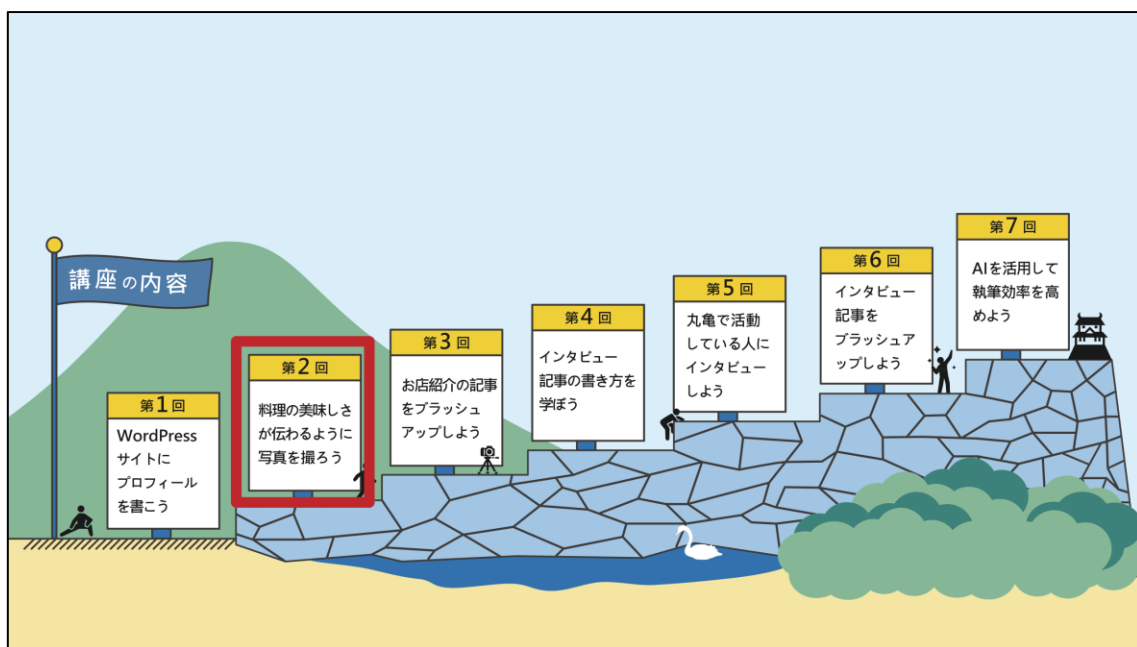


丸亀市文化芸術推進サポーター養成講座

第三期

丸亀市 Webライター塾

第2回 料理のおいしさがつたわるように写真を撮ろう



第2回 6月26日（木）

料理のおいしさが伝わるように写真を撮ろう

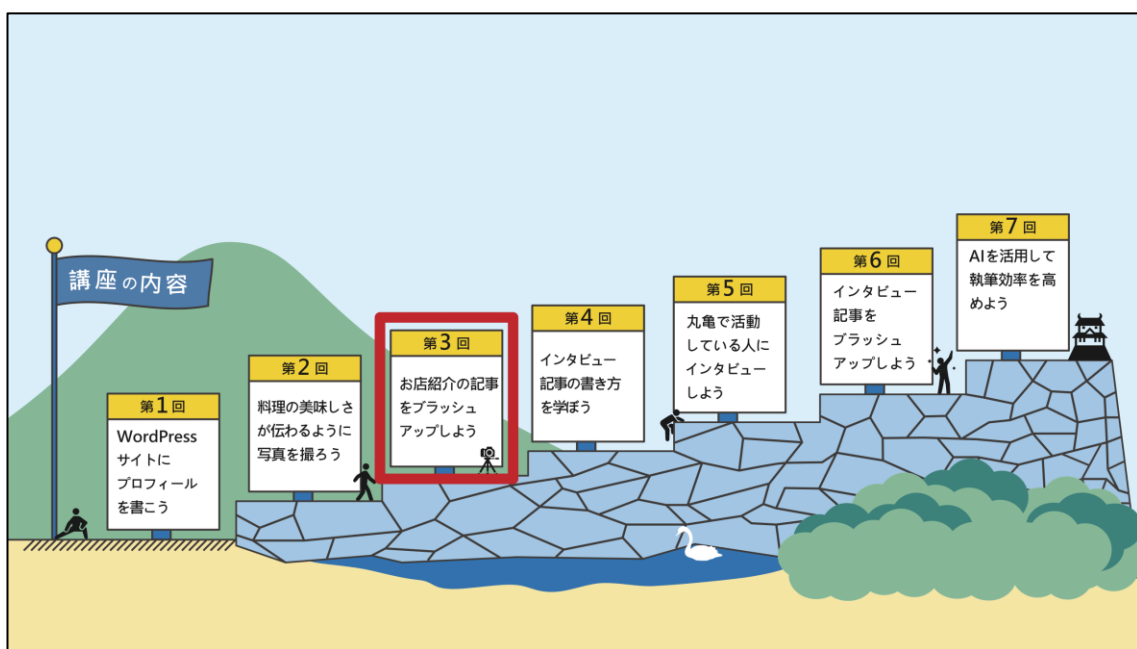


丸亀市文化芸術推進サポーター養成講座

第
三
期

丸亀市 Webライター塾

第3回 お店紹介の記事を ブラッシュアップしよう

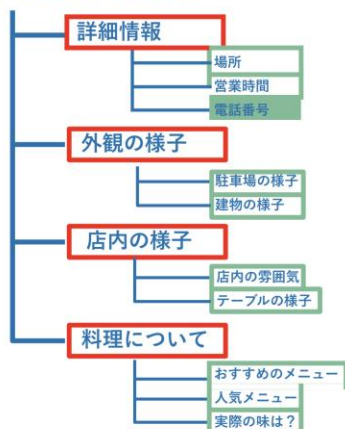


多くの方がやってしまった!?

注意点 ×5 つ

① 情報のグルーピングをする

レストラン「ヨス屋」について



ヨス屋の外観の様子

見出し 2



ヨス屋の駐車場

見出し 3

② 描写は具体的に



ほっこりした味わいでおいしかったです。



バジルのさわやかな香りが、たこ焼きソースの甘さを引き立てています。

③ 「～が」は逆接のみ使用



私は犬が好きですが、アレルギーがあるので飼えません。

先週、京都に行ってきましたが、あいにくの雨で着物での散策は断念せざるをえませんでした。



私は犬が好きですが、2匹飼っています。

先週、京都に行ってきましたが、鴨川のせせらぎを聞きながらの散策は格別でした。

④ 唐突に画像を入れない



「たこ焼きピザ」を食べると、衝撃を受けます。



こちらがヨス屋の看板メニュー「たこ焼きピザ」です。



2 種類の説明文を知る



こちらがヨス屋の看板メニュー「たこ焼きピザ」です。

どうですか？ 冗談のような姿ですが、確かにたこ焼きが載っています。



① 写真を見たくさせる文



こちらがヨス屋の看板メニュー「たこ焼きピザ」です。



どうですか？ 冗談のような姿ですが、確かにたこ焼きが載っています。

② 写真を見たあとで「なるほど」と思わせる文

⑤ 見出しがなくても文章がつながるようにする



丸亀駅から徒歩で行け、アクセスしやすいのもポイントですね。

ヨス屋の人気メニュー

もちろんテレビでも放映され、全国区になっている「たこ焼きピザ」です。



丸亀駅から徒歩で行け、アクセスしやすいのもポイントですね。

ヨス屋の人気メニュー

では、ヨス屋で人気のメニューは为什么呢？

復習

【復習】対象と目的について考えよう！

「弁慶」の紹介記事の対象は？

「弁慶」について詳細を知りたい人（興味をもっている人）

大人数での宴会ができるお店を探している人

「弁慶」の紹介記事の目的は？

弁慶に行ったことのない人に魅力を伝える

「おいしそう」と思ってもらう

「お店に行ってみたい」と思ってもらう

【注意】対象と目的が不明確だと「日記」に！

日記には不要な情報がいっぱい

- ✕ 丸亀市 WEB ライター塾の講座で書きました！
- ✕ 梅雨も開け今年の夏も本格的になってきましたね！
- ✕ 弁慶といえば私はミュージシャンの「Ben-K」のファンです。好きな曲は……
- ✕ 今日はおととい買ってきた新しいサンダルを履いています。
- ✕ 友達の佐藤さんはこのお店が好きなんです。佐藤さんは…
- ✕ 正直なところ、このお店はおいしくなかったです。

対象と目的をもとに書くべきものを決める

どんな情報があれば読み手に喜ばれる？

- ・コースは予約できるの？
- ・禁煙なの？
- ・おいしいの？
- ・何名まで入れるの？
- ・駐車場はあるの？
- ・どんな料理がオススメ？



主観情報と 客観情報について

主観情報と客観情報について

① 主観情報

- ・ 包装のデザインがイタリアを感じさせる
- ・ ハチミツの濃厚さと米粉の風味が絶妙にマッチ
- ・ 思っていたよりも硬い
- ・ フォークより箸で食べるのがオススメ
- ・ 世界一おいしい！
- ・ 贈り物にも喜ばれそう

→人によって感想が違う

② 客観情報

- ・ 原材料は砂糖と米粉、卵とハチミツ
- ・ 外側には粘り気があり、中はしっとりもちり
- ・ 原材料はすべて国産
- ・ 賞味期限は 15 日
- ・ 紙袋に入っている
- ・ ネットでは販売されていない
- ・ 1 個 200 円（税込み）

→誰が書いても同じ

第3回 7月8日（火） レストラン紹介記事をブラッシュアップしよう

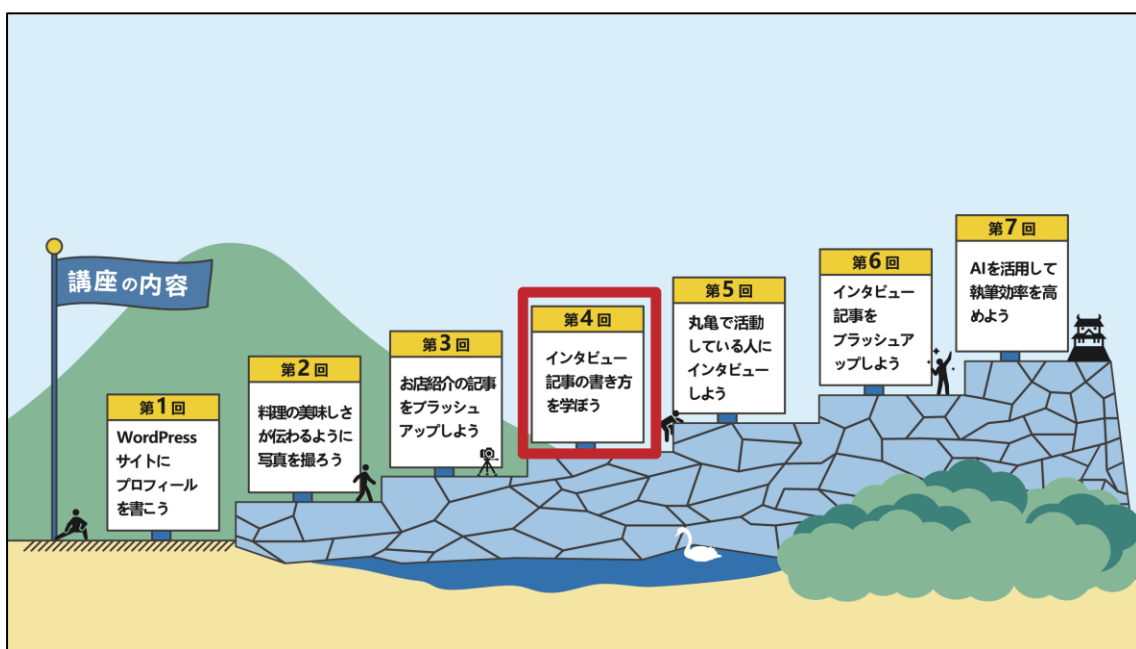


丸亀市文化芸術推進サポーター養成講座

第三期

丸亀市 Webライター塾

第4回 インタビュー記事の書き方を学ぼう



インタビュー記事を書くために学べきこと



- ① 目的と読者を明確にする
- ② 質問の設計力
- ③ 傾聴と観察力
- ④ 編集と構成力
- ⑤ 文章の調整力

1. 目的と読者を明確にする



記事のコンセプトがぶれないように
取材前にテーマとターゲットを
明確にしておくことが大切

POINT

なぜこの人に話を聞くのか？
読者に何を持ち帰ってほしいのか？

2. 質問の設計力



その人ならではの背景や感情に迫る
質問が重要です

POINT

深い話を引き出せる質問を用意
なぜそう思ったのか？
その時どう感じたのか？

3. 傾聴と観察力



表情やしぐさ、声のトーンにも注目すると
記事に臨場感や人間味が加わります

POINT

相手の言葉に潜む
キーワードや感情をキャッチ
予定と違っても柔軟に話を掘り下げる

4. 編集・構成本力



インタビュー記事の構造パターンを参考に
読者に伝わりやすい構成を考えましょう！

POINT

文字起こしそのままの文章ではダメ
読者に伝わる順番と流れに
記事を再構成しよう

5. 文章のトーンの調整



メディアのトーンや読者層にあわせて
語り口や表現も調整します。

POINT

書き言葉と話し言葉のバランスに注意
語り口を活かしつつ読みやすい文章に
調整しよう

インタビュー記事の5つのパターン

- ① サクセスストーリー型
- ② 専門知識深掘り型
- ③ 共感ストーリー型
- ④ 価値観対比型
- ⑤ 読者巻き込み型

\\ パターンを知ると
書きやすくなるよ! //



① サクセスストーリー型: Before→After 型

相手の過去と現在を対比して成長や変化を伝える構成

- ① 冒頭 今の姿（成功・現在地・魅力的な状態）
- ② 過去 うまくいかなかった頃の悩みや壁
- ③ 転機 きっかけとなる出来事や考え方の転換
- ④ 今 乗り越えた今の姿
- ⑤ 結び 読者へのメッセージや学びのまとめ

読者が受け取るもの

「人は変わる」「自分にも希望がある」など
前向きな気づき



② 専門知識深掘り型:Why→How型

専門家の話を通してテーマの理解を深める構成

- ① 問題提起 なぜこのテーマが重要なのか？
- ② 背景解説 現状や課題
- ③ 解決策 専門家の視点や取り組み
- ④ 実例 成功例・失敗例・応用可能なヒント
- ⑤ 結び 読者へのアドバイスや行動のきっかけ

読者が受け取るもの

実践的な知識

問題への新しい視点



③ 共感ストーリー型

相手の内面や感情の動きを追いかける構成

- ① 導入 強いエピソードや印象的な一言
- ② きっかけ 原体験や初期衝動
- ③ 葛藤 迷いや苦しみ、心の葛藤
- ④ 乗り越え どう受け止め、どう進んだか
- ⑤ 結び 静かな問いかけや共感の余韻

読者が受け取るもの

感情の揺さぶり 自分と重ねる余地

癒しや励まし



④ 価値観対比型：反対意見との対話

一般的な価値観とは異なる視点を提示する構成

- ① 常識的な前提提示 「ふつうは〇〇とされている」
- ② それに対する異論 「でも私は違う」
- ③ その理由や背景 体験や哲学
- ④ 具体的エピソード
- ⑤ 結び 読者への問いや思考の促し

読者が受け取るもの

新しい価値観との出会い

自分の考えを見直すきっかけ



⑤ 読者巻き込み型：疑問→解明型

読者と一緒に「なぜ？」を追いかける構成

- ① 読者が抱く疑問を提示
- ② インタビューーとの対話で徐々に核心へ
- ③ 納得感のある説明や比喻で理解を促す
- ④ 複数の視点を紹介（視野を広げる）
- ⑤ 結び 問いを開いたまま終える or ヒントを残す

読者が受け取るもの

知的好奇心の満足

探求する楽しさ



インタビューの時間

インタビューの前提条件

- ① 丸亀市を紹介するサイト内で
活躍している市民を取り上げて紹介する
- ② 対話型ではなく記事の形で執筆する

第4回 8月7日（木） インタビュー記事の書き方を学ぼう

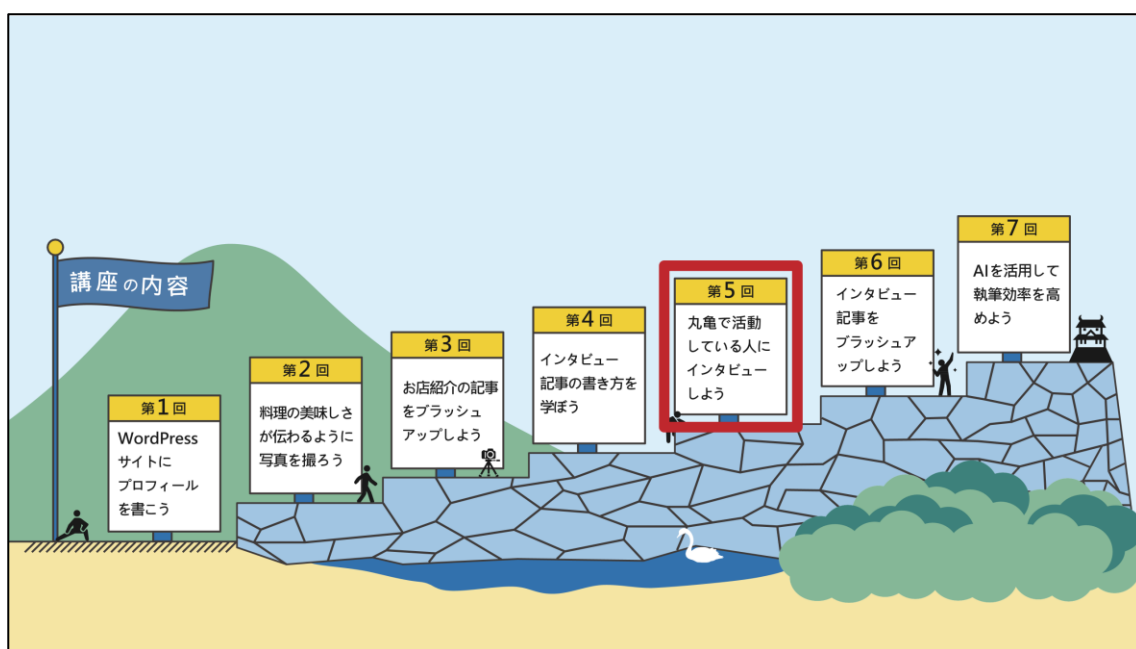


丸亀市文化芸術推進サポーター養成講座

第三期

丸亀市 Webライター塾

第5回 丸亀で活動している人に インタビューしよう



第5回 8月23日（土） 丸亀で活動している人にインタビューしよう



第5回 8月23日（土） 丸亀で活動している人にインタビューしよう



月間マルータ
楠田 寛さん



月間マルータ
楠田 由香里さん



月間マルータ
大林 朋子さん



プレイバックシアター365
アンさん

第5回 8月23日（土） 丸亀で活動している人にインタビューしよう



さぬきファミリーゲーム倶楽部
林 賢治さん



羊毛フェルト作家
家のtamaさん

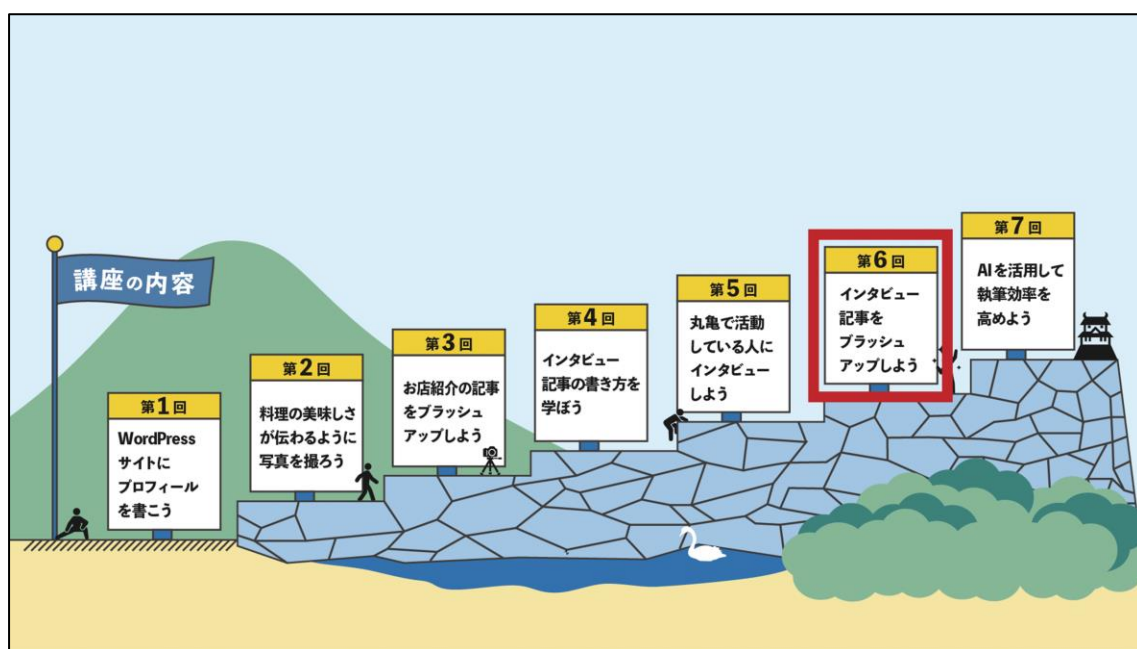


丸亀市協働推進部まなび文化課
村尾 剛志さん

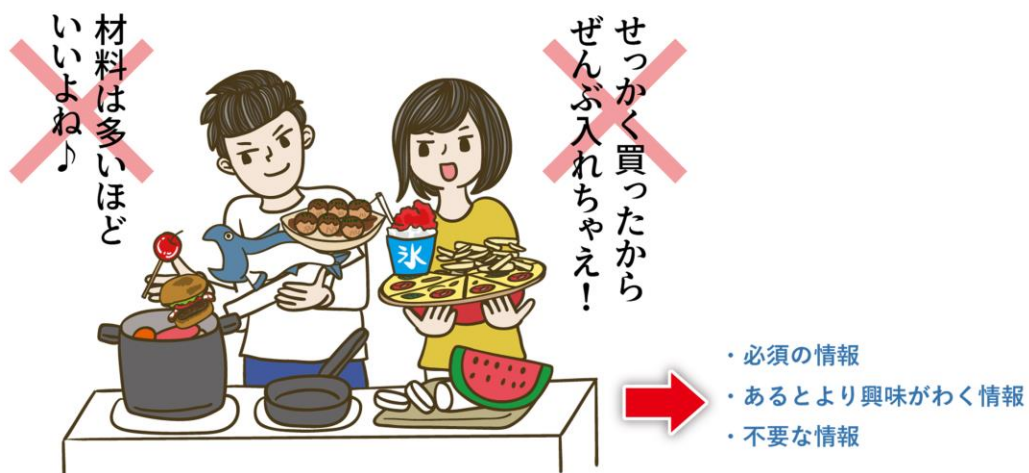
丸亀市文化芸術推進サポーター養成講座

第3期 丸亀市 Webライター塾

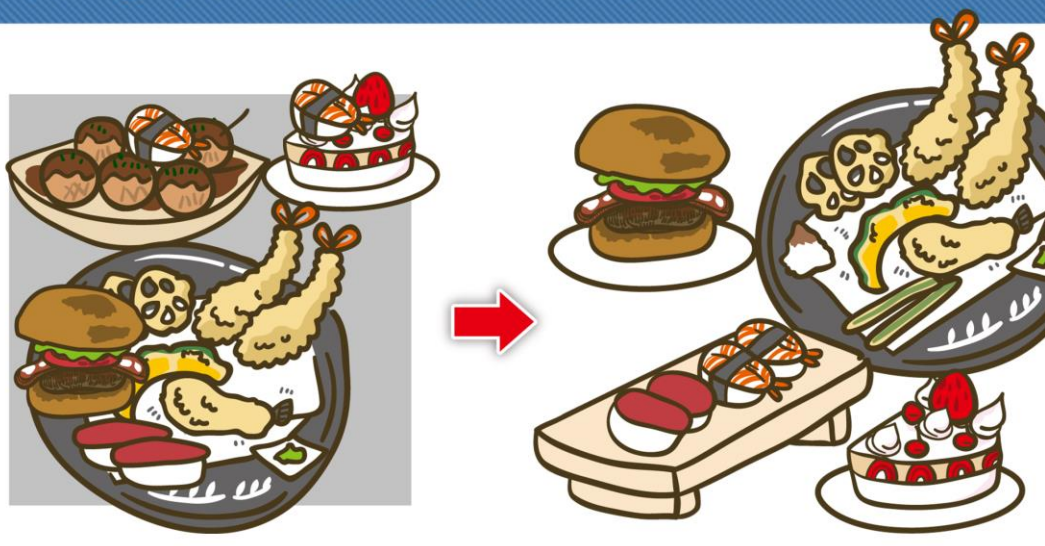
第6回 インタビュー記事を ブラッシュアップしよう



【重要 1】 目的に沿って情報を仕分ける



【重要 2】 同じ情報は同じ場所に



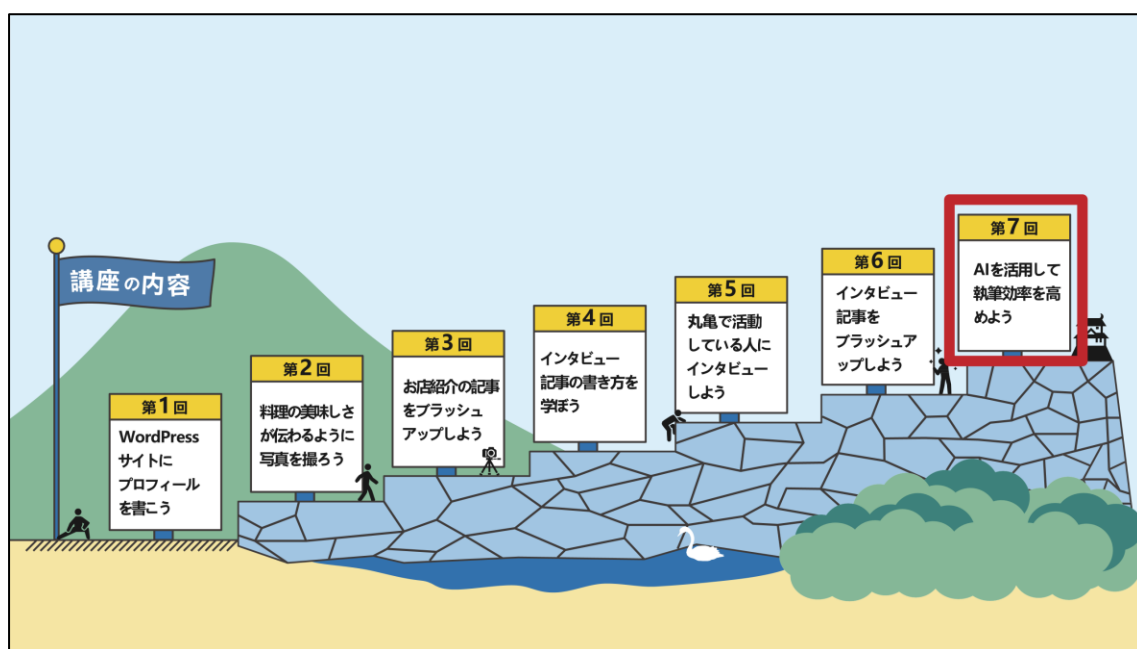
第6回 9月16日（火） インタビュー記事をブラッシュアップしよう



丸亀市文化芸術推進サポーター養成講座

第3期 丸亀市 Webライター塾

第7回 AIを活用して執筆効率を高めよう



【重要 1】AI を使うときは目的設定が大事

何を作るために AI をどう使うのか 目的意識をもつ

AI に頼んだら
勝手にやってくれるでしょ！

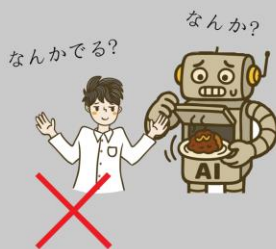


インタビュー記事を作るために
作業効率をアップしたい！

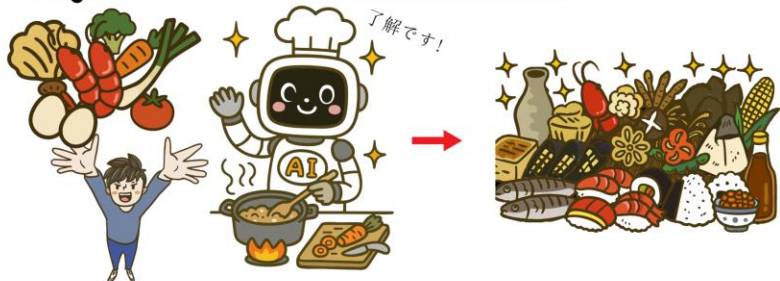
- ・ 活動内容や人生哲学、
具体的エピソードを聞き出す質問を作る
- ・ 録音の文字起こしをする
- ・ 記事構成を考える
- ・ 記事の誤字脱字や表現をチェック

【重要 2】生成 AI は変換器のイメージ

AI は無から有を
生み出す装置ではない



この材料を使って海鮮メインの
宴会用の和食を 20 人分作って



目的に沿って材料を加工する装置と考えよう

【重要 3】判断は人間がする

インタビューの質問を考えました



逆境や迷いに直面したとき、あなたを支えてくれた言葉や考え方は何ですか？

好きな食べ物はなんですか？

うどん修行で大変だったことはなんですか？

これを採用！

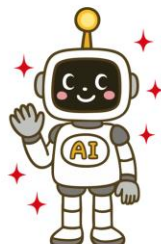


【重要 4】自分が評価できないものは使えない

「終わりよければすべてよし」を英訳して

All is well that ends well. です！

本当に合ってるかわからん・・・



AI が出力した文章の
良し悪しを評価できないと
適切に使いこなせない

結局は自分の文章力を
鍛える必要がある

\ 4 か月間お疲れさまでした /

丸亀市文化芸術推進サポーター養成講座

第三期

丸亀市 Web ライター塾

全 7 回の講座は本日にて終了です！

第7回 9月27日（土） AIを活用して執筆効率を高めよう

